

新日軽 鋳物乾式機能門柱「アクシス」組立施工マニュアル

- 新日軽の製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当説明書をお読みください。

マニュアル番号 ME-1202

注意事項 施工にあたっては次のような点を注意してください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けさせてください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- モルタルやコンクリートの急結晶は腐食の発生や促進作用があるのでその使用をさせてください。塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- アルミ製品と鋼板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合はビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れるある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただき、接触する部分を完全に養生してください。

■安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お願いしたいこと…この取扱説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。
人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	この表示を無視して、取扱いを誤ると使用者が損害を負う危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。

△注意事項

- | | |
|---|---|
| ・本体を搔ったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
・郵便ポストの付いているタイプでは、このポストの上には乗らないでください。変形したり、使用上に支障をきたす場合があります。
・ポストの投函口にむやみに手や棒を差し込まないでください。
・投函物を取り出す際は、手や指に注意してください。 | ・門扉を通常使用されない場合は必ず施錠してください。
また、落とし棒のついている商品は落とし棒も同時に下ろしてください。
・閉鎖時には手足、衣服などを挟まないよう、注意してください。
・扉に物を載せないでください。
・扉を搔ったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。 |
|---|---|

要 注意！

- * 結線は必ず電気工事店様が行ってください。
- * 照明とインターホンをどちらも御使用いただく時は、隔壁となる配管をもうけてください。
- * 配線は、あらかじめGLより1.8m位立ち上げておいてください。(H:15用、H:08用とも)
- * インターホン子機と親機は同一メーカーを御使用ください。(子機はJIS 1コ用スイッチボックス対応品)

梱包明細

柱セット	H:15 標準用	柱セット(組立品)① セット部品① 【六角ナット(M 8用)】⑩ ワッシャー(M 8用)⑩ スプリングワッシャー(M 8用)⑩ セルフドリリングネジ(皿4×19)⑩ アンカー② 取脱① 配線結束バンド① レンチ(M 6、M 8用)①
	H:15 ポスト用 H:08用	柱セット(組立品)① セット部品① 【六角ナット(M 8用)】⑩ ワッシャー(M 8用)⑩ スプリングワッシャー(M 8用)⑩ セルフドリリングネジ(皿4×19)⑩ アンカー② 皿ナジ(4×10)② 埋設管(L=1800)② 取脱① 配線結束バンド① レンチ(M 6、M 8用)①
	ポールセット	ポールセット① セット部品① 【ワッシャー(M 8用)】④ スプリングワッシャー(M 8用)④ トラス小ネジ(4×20)② 六角ボルト(M 8×20)④ 配線結束バンド①

別売品	前面後面バネルセット (標準柱用 H:15)	錫物バネル標準用① 錫物バネル裏面用①
	前面後面バネルセット (H:08)	錫物バネル前面側面用① 錫物バネル裏面用①
	前面後面バネルセット (ポスト用)	錫物バネル(ポスト取付)① 錫物バネル裏面用(ポスト裏面付)①
	前面後面バネルセット (ポスト、インターホン用)	錫物バネル(インターホン台座取付)① 錫物バネル裏面用(ポスト裏面付)①
	側面バネルセット (H:15)	錫物バネル標準用②
	側面バネルセット (H:08)	錫物バネル前面側面用②
	笠木 (標準用)	笠木(標準用)①
	笠木 (照明取付用)	笠木(照明取付用)①
	笠木 (ポール取付用)	笠木(ポール取付用)①
	ポスト取付ブラケット	ポスト取付ブラケット① 真板② トラス小ネジ(4×10)② トラス小ネジ(5×12)④ 平座金(M 5用)④ 六角ナット(M 5用)④
	ヒンジ台座セット (H:10、H:12用)	ヒンジブラケット(H:12以下用)② アルミブラケット② 六角ボルト(M 8×16)④ 平座金(M 8用)④
	ヒンジ台座セット (吊元用)	ヒンジブラケット(吊元用)② アルミブラケット② 六角ボルト(M 8×16)④ 平座金(M 8用)④
	表札台座セット	表札台座① セルフドリリングネジ(皿4×19)② クッション材④
	インターホン台座	インターホン台座① 真板② トラスビス(4×12)② 皿小ネジ(4×20)② 配線結束バンド① バインド線①

選択製品・部品	サブ門柱 (形材門扉用)	門柱① ヒンジセット①(ヒンジは2個入り) アンカーセット① 取脱①
	サブ門柱 (錫物門扉用)	門柱① ヒンジセット①(ヒンジは2個入り) 戸当りセット① 落し鏡セット① アンカーセット① 取脱①
	ヒンジセット (形材門扉用)	ヒンジセット①(ヒンジは2個入り) 取脱①
	ヒンジセット (錫物門扉用)	ヒンジセット①(ヒンジは2個入り) 取脱①
	戸当り・落し鏡セット	落し鏡セット① 戸当りセット①

門柱の建込み、及び配線

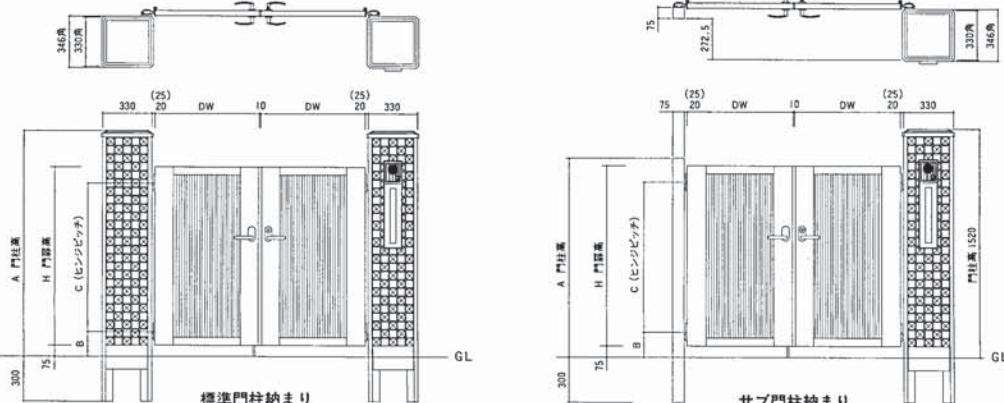
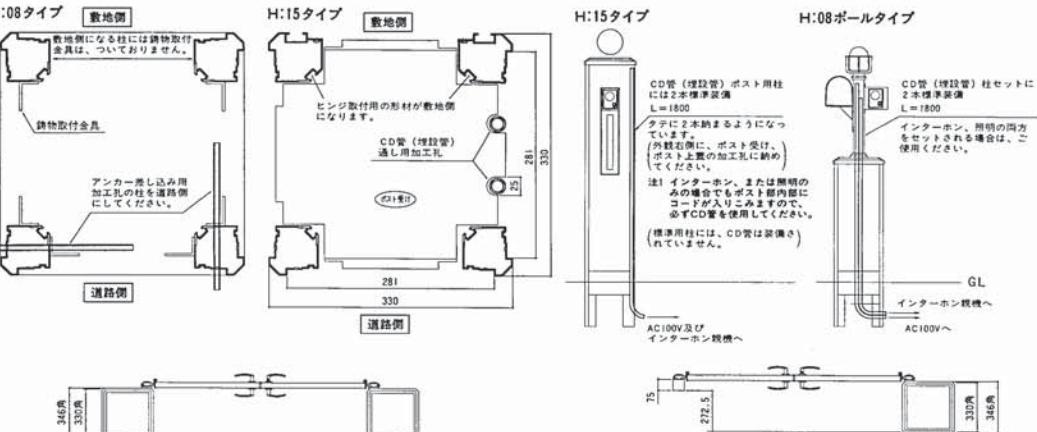
- 門柱を埋め込む際は門扉の種類により柱心寸法、チリ等が異なります。納まり図を参照の上、門柱の向きおよび、位置をきめてください。
- 門柱の埋め込み深さ、独立基礎の寸法等は図を参照し水平、垂直を確認の上埋め込んでください。

基礎工事の注意点

- 地盤が軟弱な場合は、基礎の深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 柱基礎には必ず割りぐり石を敷き十分つきかためてください。

配線、結線は必ず電気工事店様にご依頼ください。
配線コードの絶縁は、必ず行なってください。

●柱セットの施工方向は、図を参照し、確認の上施工してください。



各部寸法表

	H	A	B	C
標準門柱	1000	1520	165	800
	(245)		(600)	
サブ門柱	1000	1125	165	800
	(245)		(600)	
戸当り・落し鏡	75	20, 25	W1 + W2 + 50 (W1 + W2 + 60)	330
	75		20, 25	330
3枚開き	330	W1 + W2 + W3 + 56 (W1 + W2 + W3 + 70)	330	
	20, 25		W1 + W2 + W3 + 56 (W1 + W2 + W3 + 70)	330
4枚開き	330	W1 + W2 + W3 + W4 + E2 (W1 + W2 + W3 + W4 + 80)	330	
	20, 25		W1 + W2 + W3 + W4 + E2 (W1 + W2 + W3 + W4 + 80)	330

()寸法は、錫物門扉を取付ける時の寸法です。

組立手順

① 鋳物パネルの取付 (H:15、H:08共通)

①鋳物パネルの上下を確認し、右図の様に鋳物側のボルトを柱の金具に上から落とし込む要領で巾木の上にのせてください。

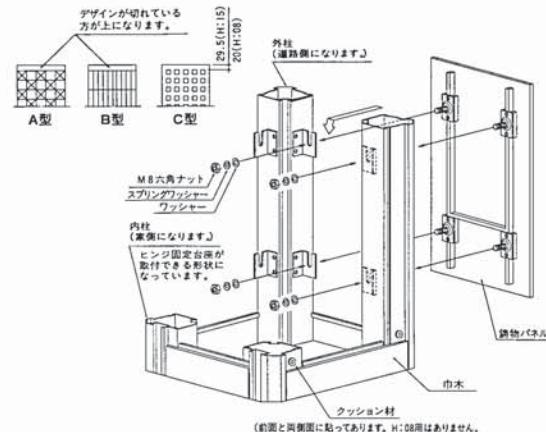
注) その際に、柱の下部に貼ってありますクッション材を鋳物パネルで押しつけるようにしてください。

②柱と鋳物パネルの目地寸法は、3.5mmを基準としていますが、左右均等に振り分けしてください。(キズをつけないようにマイナスドライバー等で目地調整してください。)

③セット部品に入っていますレンチで六角ナット等で鋳物パネルを固定してください。

鋳物パネルは、特に順序はありませんが、前面パネル、両側面パネルの順序で取付けてください。

ポストタイプで照明、インターфонの配線コードが内部に入ってくる場合は、CD管をこの時にセットするようにしてください。



② ヒンジ固定台座の取付 (H:15タイプのみ)

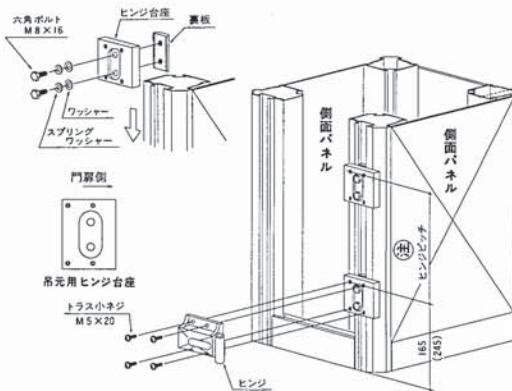
笠木を固定する前にヒンジ台座を柱上部よりスライドさせて、柱上部より25mm下げる位置に2個仮止めしておいてください。

注) ヒンジビッチの設定は、⑤の裏面パネルを取付後行なうよ

うしてください。

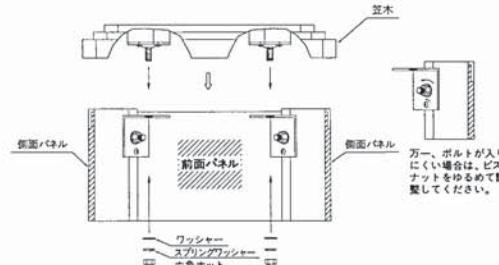
(吊元用ヒンジ台座は、左右の向きがありますので下図を参照して取付けてください。)

○ヒンジは、別売りのヒンジセットをお使いください。落し鉢、戸型について、別売品の取説を参照してください。



④ 笠木の取付 (H:15、H:08共通)

柱上部の笠木取付金具の4個の孔に笠木側のボルトを入れて、六角ナット等で固定してください。



注) H:08ポールタイプで照明とインターфонが付く場合は、配線コードをCD管と共にポールの中に入れ、コードをポール上部より出しておいてください。

H:15、H:08タイプで笠木に照明が付く場合は、照明取付用笠木を取り付後、中央の孔よりコードをだしておいてください。

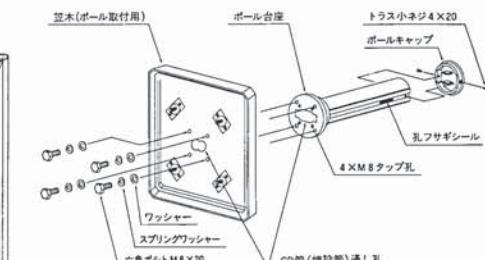
照明器具の取付は、照明の取付説明書をご参照ください。

③ 笠木の取付の前に (H:08ポールタイプの時)

H:08ポールタイプの場合は、図のようにポールを笠木にあらかじめ固定してください。

注 1) インターфонを取付ける側に図の孔フサギシールの貼つてある方が向くようにしてください。又インターфон用の配線は、笠木を固定後行なうことになりますのでポールキャップは、ビス固定しないでください。(ポスト、サンブレイブ、照明等が付く場合も同じです。)

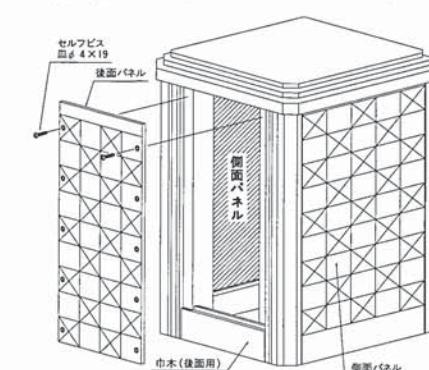
注 2) ナチュランド照明を取付けるポールキャップのタップ孔(ピッチ50mm)はタテ方向になります。



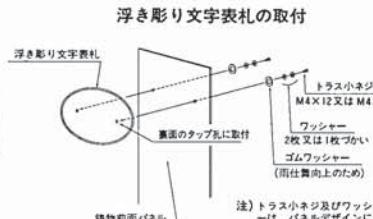
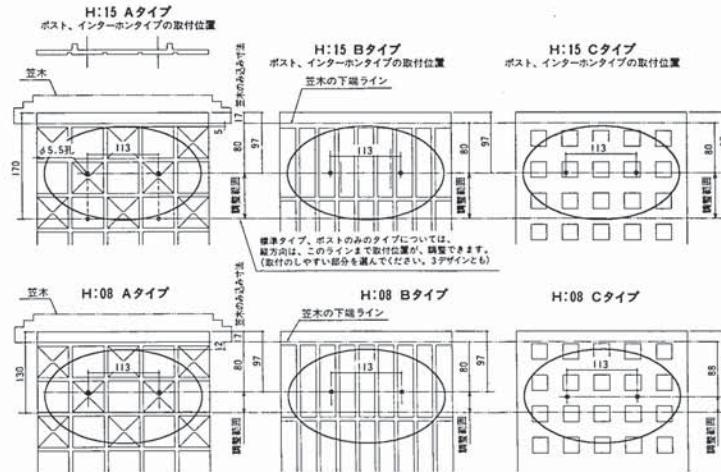
⑤ 裏面パネルの取付

笠木と柱のクリアランスに裏面鋳物パネルをはめ込んでから巾木の上にのせ、目地を均等に振り分け皿セルフビスでとめてください。

参考 (H:15タイプのビス取付位置は、タイト材ポケット部になります。ポストタイプは、タイト材が入っていないですが裏面パネルを押しつけてとめてください。)
ヒンジ台座が付いているタイプは、裏面パネルをヒンジ台座と柱の間から裏面パネルを斜めにして入れてください。



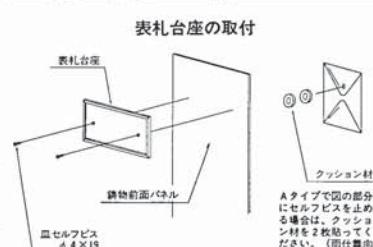
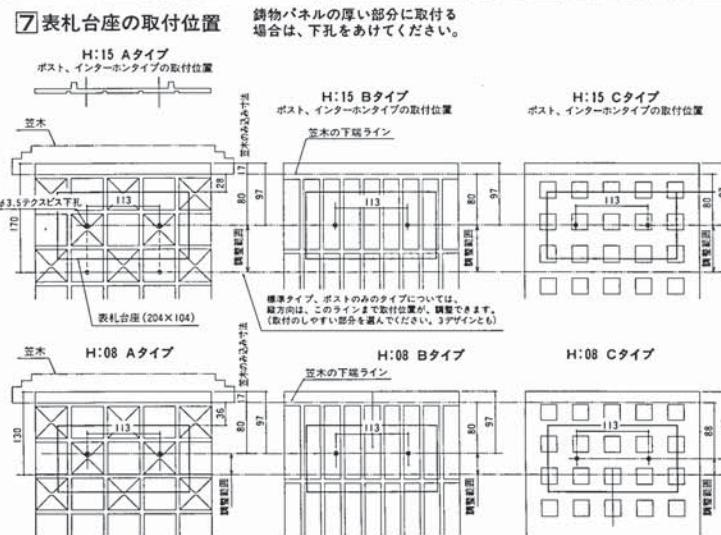
⑥ 浮き彫り表札の取付用加工孔位置



製品	Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
φ 4×12	1	1	1
φ 4×14			1
ワッシャー	1	1	2
ゴムワッシャー	1	1	1

注) ロックナット及びワッシャーは、パネルデザインによって使い方が変わりますので、表を参照して使いわけください。
(パネル薄が若干異なるため)

⑦ 表札台座の取付位置



⑧ インターфонの取付

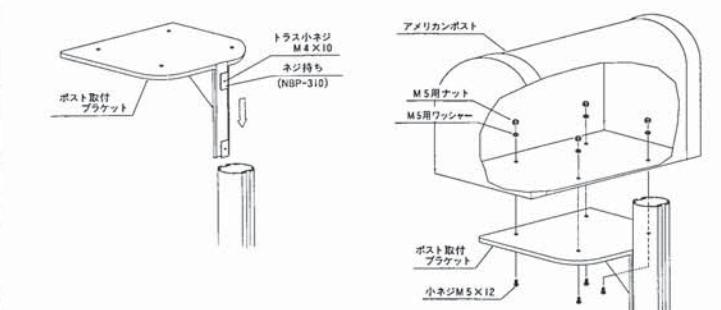
H:15用

インターфон台座にインターфонケースをビスで取付けてください。
門柱内部で結線後、インターфон本体を取付けてください。
(取付ビスは、H:15タイプは、セット部品(SE-1160)の中に入っています。

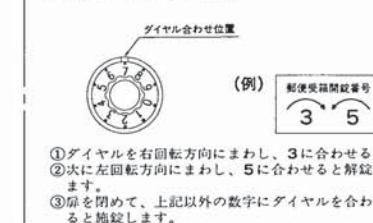


H:08ポールタイプ用
H:08用ポールタイプは、別売部品のインターфон台座に入っています取説(ME-1029)を参照してください。
(形材形状は、若干異なりますが取付方法は同じです)
取付ビスは、インターфон台座に入っています
皿小ネジ4×20になります。

ポスト取付台座にアメリカンポストをのせ
M5用ビス、ナット、ワッシャーで固定してください。



⑩ ポストの施錠・解錠



- ①ダイヤルを右回転方向にまわし、3に合わせる。
- ②次に左回転方向にまわし、5に合わせると解錠します。
- ③扉を閉めて、上記以外の数字にダイヤルを合わせると施錠します。